

予算決算常任委員会

令和7年9月19日

大治町議会 予算決算常任委員会記録

招 集 年 月 日	令和 7 年 9 月 19 日		
招 集 場 所	大治町役場 第1委員会室		
開 会	9 月 19 日 午前 9 時 45 分 (第1日)		
出 席 委 員	1 番：池田耕介 4 番：後藤田麻美 8 番：若山照洋 11番：吉原経夫	2 番：八神太紀 6 番：鈴木 満 9 番：松本英隆 12番：林 哲秀	3 番：手嶋いずみ 7 番：三輪明広 10番：林 健児
欠 席 委 員	な し		
会議事件説明のため出席した者の職氏名	町長：鈴木康友 教育長：平野香代子 総務部長：大西英樹 福祉部長：安井慎一 建設部長：三輪恒裕 教育部長：水野泰博		
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局長：横井宗宣 係長：櫛田初代		
付 託 事 件	議案第48号 令和6年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定について 議案第49号 令和6年度大治町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 議案第50号 令和6年度大治町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について 議案第51号 令和6年度大治町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 議案第52号 令和6年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 議案第53号 令和6年度大治町下水道事業会計決算の認定について 議案第54号 令和7年度大治町一般会計補正予算（第2号） 議案第55号 令和7年度大治町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 議案第56号 令和7年度大治町介護保険特別会計補正予算（第1号） 議案第57号 令和7年度大治町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 議案第58号 令和7年度大治町下水道事業会計補正予算（第1号） 議案第63号 令和7年度大治町一般会計補正予算（第3号）		

令和7年9月大治町議会定例会議事日程
予算決算常任委員会審査日程

(第1日)

令和7年9月19日(金) 午前9時45分開会

1 開会宣告

2 審査日程の報告

日程第1 議案第48号 令和6年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定について

日程第2 議案第49号 令和6年度大治町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第3 議案第50号 令和6年度大治町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第4 議案第51号 令和6年度大治町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第5 議案第52号 令和6年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第6 議案第53号 令和6年度大治町下水道事業会計決算の認定について

日程第7 議案第54号 令和7年度大治町一般会計補正予算(第2号)

日程第8 議案第55号 令和7年度大治町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

日程第9 議案第56号 令和7年度大治町介護保険特別会計補正予算(第1号)

日程第10 議案第57号 令和7年度大治町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

日程第11 議案第58号 令和7年度大治町下水道事業会計補正予算(第1号)

日程第12 議案第63号 令和7年度大治町一般会計補正予算(第3号)

~~~~~ ○ ~~~~~

午前9時45分 開会

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

ただいまの出席委員は11人です。定足数に達しておりますので、ただいまから、予算決算常任委員会を開会いたします。

これから本日の会議に入ります。

日程第1、議案第48号令和6年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

議案第48号について、総務建設分科会委員長から報告を求めます。

◎総務建設分科会委員長 三輪 明広

総務建設分科会は、9月11日木曜日に総務建設常任委員会終了後に全員出席のもと開会し、付託された議案の質疑を行いました。

議案第48号令和6年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定について、主な質疑の内容を御報告申し上げます。

防災マスターの参加人数はの問いに対し、全体で300人程度、生存確率に256名です。ワークショップでどういった意見が出たのかの問いに対しまして、さまざまな意見が出ましたが、中学生にも参加していただき10年後に残したい大治町の魅力として、祭りとか子供たちの行事として参加したものに対する意見が出ました。あと、給排水管耐震化工事設計業務委託料で避難所になっていないものはどうなっているのかの問いに対しまして、小中学校は大規模改修で対応していくので入っていないとの答弁でした。以上で報告を終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

続きまして、文教厚生分科会委員長どうぞ。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

文教厚生分科会は9月12日の文教厚生常任委員会終了後に全委員出席のもと開会し、付託された議案の質疑を行いました。

議案第48号令和6年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定についての主な質疑の内容を御報告申し上げます。

障害福祉サービス介護給付費、5年度重度訪問介護は延べ人数が16人、利用時間が108時間、金額が39万2619円でしたが、6年度は延べ人数が32人、利用時間が3,302時間、金額が1624万2038円となっている。増えた理由はの問いに対して、夜から朝方まで支援が必要な方が1人みえたので、介護者が夜勤の勤務に従事したために増えたものですとの答弁でした。

ほか、令和6年度の財政力指数0.77に対して本町はどのような評価をしているのか。

また、公債費比率2.3%に対してはどのように思っているのかの問いに対し、0.77というのは、過去3年間の財政力指数の平均ですが、ここ数年間下がってきている。上げていく必要はあると感じている。大治町であれば0.8から0.85が過去の財政状況を見るといいのではないかと感じている。公債費比率2.3%に対しては、過去の状況からは増えてきているが、借金残高自体は年々減っている。ただ、気候環境、生活環境改善、地震対策に整備費がかかり、公債費比率が高くなったと考える。10%を超えると国への説明が求められるというところからはまだ全然大丈夫ですとの答弁でした。以上で報告を終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

ありがとうございました。以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対し質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

吉原委員。

◎吉原 経夫委員

吉原経夫でございます。議案第48号令和6年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定についてに反対します。

昨年3月議会の令和6年度大治町一般会計予算において私は、財源が逼迫している中で町制施行50周年記念事業には潤沢にお金が使われる予算になっています。そのお金を小中学校給食費無償化もしくは軽減など町民のために使うべきですと発言して反対しました。その後、令和7年3月議会において大治町の財政がまさに逼迫していることが明らかになり、行政側は町制施行50周年記念事業の見直しをはじめ歳出の削減に尽力しています。私の反対討論の内容をもっと精査してもらえば、もっと早めに財政立て直しができたと思っています。よって、議案第48号大治町一般会計歳入歳出決算の認定についてに反対します。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

続いて原案に賛成の方の討論を許します。

後藤田委員。

◎後藤田 麻美子委員

議案第48号令和6年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定について賛成の立場で討論を行います。

子育て支援事業として令和7年4月より開園した三本木こども園に助成することで高

まる保育需要に対応するとともに、放課後児童クラブの待機児童を解消するための子供の居場所づくりに取り組んだ。災害対策として大規模災害に備えた砂子防災公園の整備が進められている。避難所案内看板の設置などによりさらなる防災体制の充実が図られました。また、大治小学校の校舎増築等工事により教室不足の解消に努めました。これらの事業推進のための財源は、国・県の補助金を十分に活用し、また、計画的な起債により確保されており、いずれも適切な措置でありますので、私はこの案件に賛成するものであります。皆様の御賛同をお願いいたします。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで討論を終わります。

議案第48号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[挙手 9名]

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手多数です。したがって、議案第48号は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

日程第2、議案第49号令和6年度大治町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

議案第49号について文教厚生分科会委員長から報告を求めます。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

議案第49号令和6年度大治町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についての主な質疑の内容を報告いたします。

一般会計繰入金、当初予算2億3600万円の繰り入れを行っており一般会計に600万戻すとなっているが、結果としてはどうなったのか、町の見解はとの問いに対し、629万含めて前年度の繰り越し不足分2700万もあわせて精査しておりますとの答弁でした。以上で報告を終わります。

○予算決算常任委員長 鈴木 満

以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対し、質疑はありますか。

[「なし」の声あり]

○予算決算常任委員長 鈴木 満

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

[「なし」の声あり]

○予算決算常任委員長 鈴木 満

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第49号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[挙手 全員]

○予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手全員です。したがって、議案第49号は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

日程第3、議案第50号令和6年度大治町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

議案第50号について総務建設分科会委員長から報告を求めます。

◎総務建設分科会委員長 三輪 明広

議案第50号令和6年度大治町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について主な質疑の内容を御報告申し上げます。

本来、基金として置いておけば利子がつくと思うがどうなのかとの問いに対しまして、同じ大治町の中の会計であるため利子についてそういった考えは持っていないとの答弁でした。以上で報告を終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対し、質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対する方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第50号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[挙手 全員]

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手全員です。したがって、議案第50号は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

日程第4、議案第51号令和6年度大治町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

議案第51号について文教厚生分科会委員長から報告を求めます。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

議案第51号令和6年度大治町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について質疑はありませんでした。以上で報告を終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対して、質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第51号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手 全員〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手全員です。したがって、議案第51号は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

日程第5、議案第52号令和6年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

議案第52号について文教厚生分科会委員長から報告を求めます。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

議案第52号令和6年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について質疑はありませんでした。以上で報告を終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対して、質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

吉原委員。

◎吉原 経夫委員

議案第52号令和6年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてに反対します。

2008年度から75歳以上の方だけを対象に後期高齢者医療保険制度が発足しました。原則1割負担ですが、現役並み所得者とみなされた方は3割負担となっています。後期高齢者の方の主な収入は年金であり、その年金も自主的に年々目減りしていく中で保険料はだんだんと上がってきています。さらに2022年10月1日から一定以上所得のある方とみなされた方へ2割負担が導入され、ますます負担が重くなっています。また私は後期高齢者医療保険制度自体に反対する立場でもあります。

よって、議案第52号令和6年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定に反対します。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

続いて原案に賛成の方の討論を許します。

池田委員。

◎池田 耕介委員

はい、池田耕介です。議案第52号令和6年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について賛成の立場から討論をさせていただきます。

後期高齢者医療制度は、高齢化によって高齢者の医療費が増大する中で、高齢者世代と現役世代の費用負担、財政運営の責任を明確化し、公平で分かりやすい制度とするために創設をされました。高齢化の進展に伴って高齢者医療にかかる費用は増加の一途をたどっていますが、令和4年には自己負担割合が見直され、今月末には負担増加への配慮措置も終了します。自己負担割合の見直しにより制度の持続可能性が高まり、所得に応じた公平な負担と現役世代の負担軽減も図られております。今後も制度の運営主体である広域連合と密な連携を図り、高齢者が安心して医療を受けられる制度の持続のためにより一層の努力をいただくことをお願い申し上げて私の賛成の討論といたします。

皆様の多くの御賛同をお願いいたします。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで討論を終わります。

議案第52号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[挙手 9名]

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手多数です。したがって議案第52号は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

日程第6、議案第53号令和6年度大治町下水道事業会計決算の認定についてを議題とします。

議案第53号について総務建設分科会委員長から報告を求めます。

◎総務建設分科会委員長 三輪 明広

議案第53号令和6年度大治町下水道事業会計決算の認定について、主な質疑の内容を御報告申し上げます。

供用開始後どれだけ使用量を確保しないと危ないのかの問いに対し、接続率（後刻「水洗化率」に訂正）が100に近ければ近いほど経営は成り立っていく。昨年中間見直しを行いロードマップが明示されているので、それに従って整備のほうを進めていく考えであるとの答弁でした。

以上で報告を終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対して質疑はございませんか。

吉原委員。

◎吉原 経夫委員

今委員長、接続率と言いました。けど正しくは水洗化率だと思うんですが、ちょっと暫時休憩をいただければ。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時03分 休憩

午前10時06分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

休憩前に引き続き会議を開きます。

総務建設分科会委員長。

◎総務建設分科会委員長 三輪 明広

済みません。はい先ほどの報告ですけど、「接続率」を訂正させていただきまして「水洗化率」に訂正させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。以上です。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第53号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手 全員〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手全員です。したがって、議案第53号は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

日程第7、議案第54号令和7年度大治町一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

議案第54号について総務建設分科会委員長から報告を求めます。

総務建設分科会委員長どうぞ。

◎総務建設分科会委員長 三輪 明広

議案第54号令和7年度大治町一般会計補正予算（第2号）について、主な質疑の内容を御報告申し上げます。

備品購入の詳細をとの問いに対しまして、折り畳みテーブル20台、折り畳みテーブル用台車3台、三角コーン50個ですの答弁でした。以上で報告終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

文教厚生分科会委員長どうぞ。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

議案第54号令和7年度大治町一般会計補正予算（第2号）について質疑はありませんでした。以上で報告を終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対して、質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第54号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手 全員〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手全員です。したがって、議案第54号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

日程第8、議案第55号令和7年度大治町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

議案第55号について、文教厚生分科会委員長から報告を求めます。

文教厚生分科会委員長どうぞ。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

議案第55号令和7年度大治町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についての主な質疑の内容を報告いたします。

なぜ子ども・子育て支援事業費補助金として国民健康保険補正予算の中で計上するのかの問いに対し、今、少子化というのが進んでいる中で全世代で支援の仕組みを整えるという国の動きがあり、社会保険の制度の中に保険料として被保険者の方から拠出をいただくという形になります。令和8年度よりこの制度を進めていくためのシステム改修ですとの答弁でした。以上で報告を終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対し、質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

吉原委員。

◎吉原 経夫委員

議案第55号令和7年度大治町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)に反対します。

この補正予算案の中に来年度から導入される子ども・子育て支援金制度に伴う国保電算システム改修業務委託料が含まれています。少子化という国の存続に関わる課題なら抜本的支援のために税制を変え、大企業や富裕層に応分の負担を求めるべきです。それが公的医療保険に上乗せして新たに徴収する支援金制度では、子ども・子育て支援を拡充しようとするれば国保税を上げざるを得ません。ただでさえ来年度は一般会計からの法定外繰り入れをなくすことによって国保税の大幅な引き上げが計画されています。被保険者である町民の負担は際限なく重くなってしまいます。高過ぎる保険税を払えず、県内市町村の中でもただでさえ低い保険税納入率がさらに低くなってしまいます。またこの支援金制度が導入される反面、子ども・子育て支援に関わる施策に係る国の一般会計からの負担は後退しかねません。よって議案第55号令和7年度大治町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)に反対します。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

続いて原案に賛成の方の討論を許します。

松本委員。

◎松本 英隆委員

松本です。議案第55号令和7年度大治町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について賛成の立場で討論いたします。

この補正予算は令和8年度に創設される子ども・子育て支援金制度に向けてのシステム改修です。またこの制度は社会保険制度として位置づけられ、子ども・子育て世帯を全世帯で支える仕組みとなっております。この仕組みに対して全世帯で支えを嫌だという方はいないとは思いますが、財源についても国から事業費補助金など充てられております。以上総合的に判断してこの議案に賛成するものです。皆様の御賛同をよろしくお願いいたします。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで討論を終わります。

議案第55号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[挙手 9名]

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手多数です。したがって、議案第55号は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

日程第9、議案第56号令和7年度大治町介護保険特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

議案第56号について文教厚生分科会委員長から報告を求めます。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

議案第56号令和7年度大治町介護保険特別会計補正予算（第1号）については質疑はありませんでした。以上で報告を終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対し、質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第56号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手 全員〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手全員です。したがって、議案第56号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

日程第10、議案第57号令和7年度大治町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

議案第57号について、文教厚生分科会委員長から報告を求めます。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

議案第57号令和7年度大治町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について、主な質疑の内容を報告いたします。

議案55号の国民健康保険特別会計補正予算と同じ理由でしょうかの問いに対し、そのとおりですとの答弁でした。以上で報告を終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対し、質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

吉原委員。

◎吉原 経夫委員

議案第57号令和7年度大治町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）に反対します。

この補正予算案の中に、来年度から導入される子ども・子育て支援金制度に伴う後期電算システム改修業務委託料が含まれています。少子化という国の存続に関わる課題なら、抜本的支援のために税制を変え大企業や富裕層に応分の負担を求めるべきです。それが公的医療保険に上乗せして新たに徴収する支援金制度では、子ども・子育て支援を拡充しようとすれば保険料を上げざるを得ません。またこの支援金制度が導入される反面、子ども・子育て支援に関わる施策に係る国の一般会計からの負担は後退しかねません。

よって、議案第57号令和7年度大治町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）に反対します。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

続きまして、原案に賛成の方の討論を許します。

松本委員。

◎松本 英隆委員

議案第57号令和7年度大治町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について賛成の立場で討論します。

先ほどの議案第55号と同じ内容になりますが、令和8年度に創設される子ども・子育て支援金制度に向けてのシステム改修を行うものです。この制度は社会保険制度として位置づけられ、子ども・子育て世帯を全世帯で支える仕組みとなっております。先ほど同じ財源についても国から事業費補助金が充てられております。以上のことからこの議案に賛成するものです。皆様の御賛同をよろしくお願いします。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで討論を終わります。

議案第57号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[挙手 9名]

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手多数です。したがって、議案第57号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

日程第11、議案第58号令和7年度大治町下水道事業会計補正予算（第1号）を議題とします。

議案第58号について総務建設分科会委員長から報告を求めます。

◎総務建設分科会委員長 三輪 明広

議案第58号令和7年度大治町下水道事業会計補正予算（第1号）については、質疑はございませんでした。以上で報告終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対し、質疑はありませんか。

[「なし」の声あり]

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

[「なし」の声あり]

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第58号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[挙手 全員]

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手全員です。したがって、議案第58号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

日程第12、議案第63号令和7年度大治町一般会計補正予算（第3号）を議題とします。

議案第63号について総務建設分科会委員長から報告を求めます。

◎総務建設分科会委員長 三輪 明広

議案第63号令和7年度大治町一般会計補正予算（第3号）について、主な質疑の内容を御報告申し上げます。

堀之内砂子線ですが、この先何年かかるか幾らかかるかわからない。また、現状ある狐穴球技場の代替地を探さなければいけないが、今一番いいタイミングだと思うがどう考えているかの問いに対しまして、現状でとめると今までつくった意味がなくなる。また、交通の機能として浄水場の交差点までつなげて初めて交通網として成り立つ。渋滞解消はできると考えているので整備を続けていくとの答弁でした。以上で報告を終わります。

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

以上で分科会委員長の報告を終わります。

分科会委員長の報告に対し、質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第63号を採決します。

原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手 全員〕

◎予算決算常任委員長 鈴木 満

挙手全員です。したがって、議案第63号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で予算決算常任委員会に付託されました全議案の審査は全て終了しましたので、これで予算決算常任委員会を閉会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時21分 閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

予算決算常任委員長 鈴木 満